

臨床研究に関する情報公開

「3D-CT を用いた空腸静脈の門脈への流入形態の検討」へのご協力をお願い

当院の研究責任者

外科 田端正己

他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

研究の対象

2013年1月～に松阪中央総合病院で腹部のダイナミックCT検査を受けられた方

研究目的・方法

膵頭十二指腸切除の際には、通常、第1あるいは第1、2空腸動脈が切離されることから、近位空腸動脈の走行については、下膵十二指腸動脈の走行とともに多くの報告があります。しかし、同時に切離される空腸静脈については、走行異常が極めて多いにも関わらず、その詳細についてはほとんど解明されていません。そこでダイナミックCTのボリュームデータを元に、画像処理ワークステーションを用いて3D画像を構築し、第1～第3空腸静脈の合流形態を検討するのが本研究の目的です。

研究に用いる試料・情報の種類

ダイナミックCT画像

外部への試料・情報の提供

ありません

個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません

お問い合わせ先

0598-21-5252 田端正己